

Title: I'm here!



清水 香宗江
長い長い学生生活最後の一大イベントです。色々な世界を見てみたいです。

● 最近のエントリー

- 📁 サウンド
(2011.05.26)
- 📁 どっきどき☆スクーリング
(2011.05.21)
- 📁 あれまじまさらきなカンボジアでの出来事
(2011.05.13)
- 📁 海が見たいと君が言って
(2011.05.03)

● アーカイブ

- 📁 2012年03月
- 📁 2011年11月
- 📁 2011年10月
- 📁 2011年09月
- 📁 2011年08月
- 📁 2011年07月
- 📁 2011年06月
- 📁 2011年05月
- 📁 2011年04月
- 📁 2011年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

I'm here! > 2011年05月 アーカイブ

11.05.26

| サウンド

[Tweet](#)[Check](#)

一昨日、一回目の講師を録えて力が抜けたのか昨日は疲れがどっと出て、一日死んだように眠っていました。

夕方、薄暗い部屋の中で寝ていたら近所の音が聞こえて来ました。

工事の音と、人の話し声、人の話し声は、言葉というしっかりしたものではなく意味が抜けてたたの音になっていて町の音とまざりあっていました。

「ああ、夕方の音だなあ。」

雨が降ちてこれから夜の静かさが来る前の最後のざわめき。昼から夜になるにつれ音がだんだんとフェードアウトしていきほんの少し聞こえるか聞こえないかくらいのボリュームで小さく響いている音たち。

夕方の音は自分の中ではそういうイメージで、日本で感じていた夕方の音と同じ音を昨日は感じる事ができました。この旅に出て初めて感じた音です。

いろいろなものをふるいにかけていって最終的に残る感覚的なもの。そういうものを私は撮りたいのだからなあと。

あれ、無理矢理話を写真に持って行きましたかね？あは。

いろんな折に、はっと気付いたりしてどきりとさせられたりするので。

音に比べると何かを見てひとつひとつに感動することはなくなったけれどたまにこうして気付かされることもあると、まだまだ私も腐っていないのだな、と。

自分の感受性くらい自分で守ればかものよ

カテゴリ:

post by 清水 香宗江 | 日時: 2011.05.26 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

I'm here! > 2011年05月 アーカイブ

11.05.21

| どっきどき☆スクーリング

[Tweet](#)[Check](#)

「魅力的な被写体に出会える能力と、被写体を魅力的に撮ることができる能力。あなたならどっちが欲しい？」

という質問を思いついて、自分ならどっちがほしいかなあとしばらく考えた後、

どちらも結局「ものごとをしっかりと見抜く能力」が必要だとわかり、その能力があれば、どちらもクリアできるんだと一人で納得したのでありました。

前置きが長くなりました、こんばんは！清水です。

ただいまマレーシアのスクーリング施設で24日から始まるスクーリングの準備中です。これまで撮影した写真を整理し、コンタクトシートを作り、その中から要に150枚程度選び2Lサイズで出力します。その写真をゼミの先生方に見てもらい、指摘していただくのです。

スクーリング準備の様子などは[池田さん](#)がしっかり写真に収めてくれているのでそちらをご覧ください！

これまで撮ってきた写真を見ていると、撮った直後に見た印象とはまた違う印象で見ることが出来ます。
コンタクトシートを作った時と、プリントして見直した時でもまた随分と印象が違います。
繰り返しながらも、撮った後も、私も写真も変化し続けているんですね、きっと。

私の今回の作品は簡単に言ってしまうと

「この世界って、どんなものよ？」
という問いに対する答えを探して行く作品です。

うーん、簡単に、といったのに分かりずらいですね。
言葉だったら「この世界」と一言で言ってしまうけれど、
蓋を開いたら中身は何層にもなって、さらに核分かれていて、
到底一言では言い表せないものです。
ここからここまでが「世界です」なんてガイドラインもない。
輪郭もぼんやりしています。
ぼんやりしたこの世界を私は撮ってみたい、
そう思っています。
もちろん輪郭もなくぼんやりしたものなど撮れるはずもありません。
カメラが撮ることができるのは、目に見えるものだけです。
このことは、長坂先生にもさんざん言われて来ました。
ロジカルに考えることが苦手な私はどうしても感覚が先行してしまい、
写真というメディアの根本的なところを置き去りにしてしまっていたようです。

と、ここでしみずはどつぼにはまり始めました。
メディアという言葉を持ち出してしまうと、またいろいろなことを考えてしまうからです。

今年はフィルムが小林さんしかいなくて、他全員がデジタルカメラを使用しています。
もちろんフィルムカメラもデジタルカメラも同じようにシャッターを押せば同じように被写体を記録しますが、
一方はフィルムという形があるものに記録されるのに対し、
もう一方は信号という目には見えない形で記録されます。
世界の断片をどんなに写しても、目に見えないし、触ることもできません。
それだけでも、写真というもののあり方の違いがあります。
もちろん、どちらがいいという訳ではないと思います。

メディアアートなんて言葉は少し古い気もしますが、
ハードの種類が増えれば増えるほど、そのハード自体について見つめ直す必要性が出てきます。
自分がもし、今後も写真と付き合っていきたいと思うなら、
写真というメディア自体のことも考えないといけないのでは？
それをふまえての、「この世界」、
きっとたのしいものが生まれるはずですよ。
もっと勉強しないとイケませんね。
と、口だけではどれだけでも言えるので
思いが続くうちに少しでも・・・嗚呼・・・

公式のブログで、こんな曖昧な文章になってしまわずみません。
またまた前置多難です。

帰国のスライドショーの時にも少し言葉にできていたらと思います。
いえ、できるようにします。はい。

そうそう、最初の質問。
結局、物を見る能力があれば、素敵な被写体を見つけ出すことができるし、
物を見る能力があれば、被写体の魅力を引き出して撮影することができるということですよ。
だから、同じ能力。
写真はすべてこの能力につきます。
うん、欲しい。

今日は文章だけのブログでした。
あれ、前の日記がカンボジアから飛んでるよって？

あは。
後半はがんばって更新します。

では！

カテゴリ:

post by 清水 香宗江 | 日時: 2011.05.21 | [ハイマリン2](#) | [コメント \(12\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年05月アーカイブ

11.05.13

あれ？いまさら？なカンボジアでの出来事。

[Tweet](#)

[Check](#)

茨木のり子の「自分の感受性くらい」の詩が胸に突き刺さる今日この頃。
こんばんは！清水です。

写真で、本当に難しいですね。
いや、写真の問題ではない気がします。
ひとりの人間として、解像を保ち続けることが大事な気がします。
凝り固まらないように、
つまってきたら削ったりしながら、
もしくはうまく寝かせて熟成させてみたり。
自分のメンテは自分でしかできないですから
自分でなんとかするしかないのです。
というようなことを考えたり、考えていなかったり
キレたことしていたら昇天に自滅不自にあり

てのほこりもなくいられた事に面白がられて
ただ話まりの状態です。ちーん。
ほんと、思春期かって突っ込みたいくらいです。

さてさて、
話題はカンボジアに戻します。
今更？な感じですが、私もご多分にもれず、アンコールワットやその他遺跡群に行ってきました。
そんなに興味はないんだけどね！あは。
でもやっぱり行ってよかったです。
特に私はバイヨン遺跡が好きでした。
他のFWメンバーでも好きてって人多かった人気の遺跡ですね。
詳しくは他のメンバーのブログで。（丸投げ！ひどい！すみません！）
私は誰もあげなかった、クメールの新年のお祭りの動画をアップします。
一緒に行った柳川さんと森上さんものりりで踊ってます。
お楽しみくださいませー。

車で村内をまわった後、メイン会場に戻って来てダンスが始まります。
15時開始で18時頃までこのダンスは続きました！

このダンスで分かったことは、私がとてつもなくリズム感がないということです。
森上さんにも馬鹿にされました。くやしー。
どうしても半テンボ遅れます。あーあ。

でもっ、久しぶりにいっぱい笑って楽しかったです。

カテゴリ:

post by 清水 香那江 | 日時: 2011.05.13 | [ホームリンク](#) | [コメント \(9\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年05月 アーカイブ

11.05.03

海が見たいと君が言って

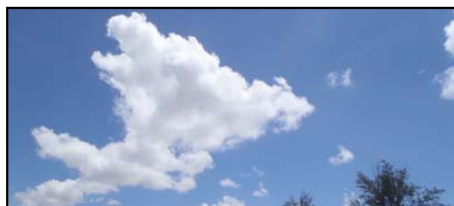
[Tweet](#)

[Check](#)

海が見たいと君が言って、私はただただ自転車をこぎ続けました、6時間！！（往復）
降り道、タイヤがパンクして泣きそうになりました。
こんな時に限って、あんなに勧誘がうるさかったトゥクトゥクも見当たらない・・・
居てほしい時にあなたは居ないのね・・・
そう、そうなのね。もう分かったわ。

はい、これ、カンボジアの話題です。
たたいまタイはカンチャナブリー。
サワディカー、清水です。
もう、随分ブログを更新しなますぎで、どこから手をつけていいかわかりません。

カンボジアはカンボットにて。
泊まっていたゲストハウスにレンタルサイクルがあったので借りて出掛けてみることに。
歩くのは好きだけど、炎天下の中歩き続けるのはしんどいんですよね～。
そんなとき！！自転車があればすいすい！！どんなとこでも行けちゃいます☆





気分よく出発進行ー！

カンボットには至る所に像が立っています。
一番のメインはドリアン像。
すべての道はドリアンに続いていると言っても過言ではありません。
パリの凱旋門のごとく、中心のロータリーに立っていて、
そこから四方に道がのびています。
なんでも、ドリアンはカンボットの名産なんだそうです。
(写真はありますが、後日露店で買って食べました。初ドリアン。クリーミーで美味。)
他にも、いろんな像があります。



ふんふんふ〜ん♪と鼻歌まじりに走っていたら、気付いたら園道に出ています。
カンボットから30kmくらい行ったところにケップビーチというビーチがあり、
この園道はケップに続いているということを思い出しました。
この道をまたまふんふんふ〜ん♪と鼻歌まじりに走っていたら、気付いたら園道に出ています。

この道をより早く行けるように自転車のタイヤをパンクさせ、門を叩いたが園地を自転車で走り回りました。
途中、見えるのがな風景。
いいね～。



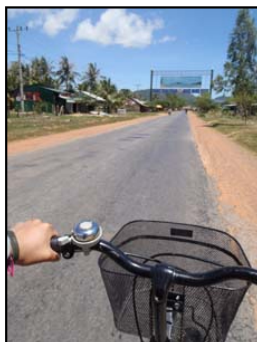
旅のお供にiPod、イヤホンとってポケットにつっこんで、音楽をならしながら走行。
(電池が相当食うらしく、帰り道は電池が切れ無音・・・)



うしさん。
このあと、フンを踏みました。見起きたなんて言ったからですか？



どれくらい走っただろう？ケップ市に入りました。わいわい。



先は長い。



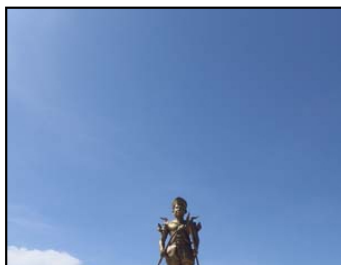


ケップビーチの文字が！！この時点で出発して2時間半くらい。
ここからが更に長く感じました。走れども走れども海が見えない。
と、ふと横を見ると海らしきものが！！いいよっかっ！？



海！！うーん、でも、目指してたことと違う・・・
(あとから分かったのですが、ここ付近にマングローブの林があった模様・・・；あれ
だったかっ！！)
再び走り出す。
この辺から（いや、実はもっと前から）誰からも課せられてない使命感でただただペダル
をこいでました。
ケップを一目見るまでは・・・！！

で、書いたのがここ。
ここにもまた像が。





寄った場所は、ケップよりも数キロ手前のビーチでした。
そこにはカニが安く売られているマーケットがありました。
海の家のようなお店がいっぱい並んでいて、個人的にテンションただ下がりて写真も撮らず・・・
この時点で14時半。帰りのことも考えると、ケップまで行くのは難しそう・・・
泣く泣く引き返すことに。
何しに来たんだろ・・・
同じ道を引き返します。
帰りは同じ道をひたすらこぎ続けました。
途中、レッドブルでエネルギーチャージ。



この後、タイヤがパンクします。

ひとこと。
疲れました
その後飲んだマンゴパイヤシェイクはたいそうおいしかったです。

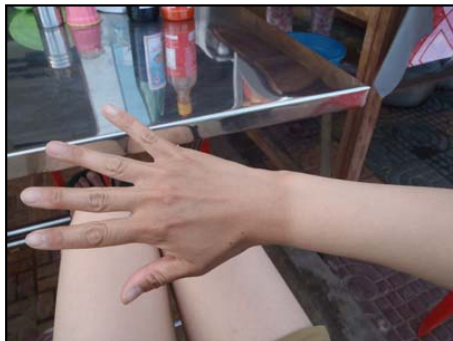


ごはんもほんとにおいしかった。





おまけ。
ドリアンと小林さん。



中学生じゃあるまいし。この揚げようったら。あーあ。



まーでも、カンボットはいいとこでしたよ。
伝わらないって？
とりあえず、行ってみなさいって。
だまされたと思って。

カテゴリ:

post by 清水 善宗江 | 日時: 2011.05.03 | [バナーリンク](#) | [コメント \(10\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)